

船舶事故等調査報告書

平成26年9月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014長第42号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年1月13日 09時30分ごろ
発生場所	三池港西方沖（有明海） 福岡県大牟田市所在の三池港北防砂堤灯台から真方位261°6,750m付近 （概位 北緯32°59.7′ 東経130°19.3′）
事故等調査の経過	平成26年5月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 紀栄丸、4.6トン FO3-57231（漁船登録番号）、個人所有 B 漁船 徳島丸、3.46トン SA3-16204（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士 B 船長B、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	A 左舷中央部のたつに亀裂及びペイント剝離 B 船尾部のアンカー引揚げ用ローラーに擦過傷
事故等の経過	A船は、船長Aほか2人が乗り組み、機関を中立（アイドリング運転としてクラッチを中立位置）にし、船長Aが投網を投げる準備を行いながら漂泊中、B船は、船長Bほか1人が乗り組み、機関を中立にし、船長Bが前部甲板で投網をさばきながら漂泊中、平成26年1月13日09時30分ごろ、三池港西方沖において、A船の左舷中央部とB船の船尾部とが衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	両船は、投網を使ってしばえび漁を行っていた。 本事故当日には、本事故発生場所付近では、約70～100隻の僚船がしばえび漁を行っていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B あり A なし、B なし A なし、B なし A船は、三池港西方沖で漂泊して操業中、船長Aが投網を投げる準備を行うことに意識を向けていたことから、B船と接近し、B船と衝

	<p>突したものと考えられる。</p> <p>B船は、三池港西方沖で漂泊して操業中、船長Bが前部甲板で投網をさばくことに意識を向けていたことから、A船と接近し、A船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、三池港西方沖において、A船及びB船が漂泊して操業中、船長Aが投網を投げる準備を行うことに意識を向け、また、船長Bが投網をさばくことに意識を向けていたため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 操業中であっても、常時、適切な見張りを行うこと。